

正 誤 表

このたび、弊社刊『柳本新二の超 SPI 3 問題集』（第 1 刷）の記述につき、誤りがありました。お詫びとともに訂正させていただきます。

ページ	誤	正
p.79（問題 4 の選択肢 B）	B ミウ	B ミウかヒトミ
p.159（問題 4 の 2 の問題文 1 行目） 別冊 p.70（上から 4 行目）	990000 円	890000 円
別冊 p.26 問題 1 解答解説部分	（印字不鮮明）	正誤表 2 枚目に添付
別冊 p.55 問題 3 の解答解説部分 （一番上の「キの場合」）	<p>キの場合</p>	<p>カの場合</p>
別冊 p.58 問題 2 の 2 解答解説部分	（印字不鮮明）	正誤表 3 枚目に添付
別冊 p.90 問題 4 解答解説部分	（印字不鮮明）	正誤表 4 枚目に添付

以上

→ S と T の個別の値段はわからない。… (×)

キ 5つの中で最も高いのは S か T のいずれか、または両方である。

→ $P = 5000$ 、 $Q = 4400$ 、 $R = 8000$ なので、S、T のどちらかは最低でも 9500 はあるので S か T は P、Q、R よりは高いと言える。… (○)

ク R の値段より P、S、T の値段の平均の方が高い。

→ $P = 5000$ 、 $S + T = 19000$ なので、3つの合計 = 24000 円となり、平均は 8000 円である。これは R の値段と一致するので、「R の値段より P、S、T の値段の平均の方が高い」とは言えない。… (×)

質問の仕方に注意しましょう！

「必ずしも～とは言えない」は、例外があっても (○) という
こと。

「確実に言えるもの」は、例外が1つでもあれば (×) という
こと。



08 推論 (正誤)

実力UP 練習問題の解答・解説

本冊▶ 88ページ

問題 1

解答 D

6人のうち4人が男子なので、女子は2人である。この2人を探すことになる。

ア T、H、R、Kのうち1人は女子。

イ R、K、M、Wのうち1人は女子。

ウ T、H、K、Mのうちに女子は2人いる。

アとイより、R、Kは重なる。

これらを女子とするとウを入れた時に人数が合わないので、男子と言える。

よってT、H、M、Wに女子が2人いる。

↓不鮮明な箇所は下記の記載となります

・T ()、H ()、R：男子、K：男子、M ()、W ()

イとウより、MかWのどちらかが女子になる。ウにいないWが女子になると、女子が3人になるので、共通のMは女子、Wは男子となる。

よって、T、Hのうちどちらかが女子になる。

・T (△)、H (△)、R 男子、K 男子、M 女子、W 男子

A Rは女子である… (×)

B K、Mの中に女子はいない… (×)

これらが成り立っているのは、 $Z = bX + cY$ だけしかない。

2 解答 F

Z に至る流れは、 $Z = bX$ 、 $Z = cY$ の 2 通りある。

そして $Z = cY$ は、 $Y = aX$ でもあるので、 $Z = acX$ となる。

よって、 $Z = bX$ と $Z = cY = acX$ の 2 系統の組み合わせなので、

これをまとめると、 $Z = (b + ac) X$ となる。

問題 2

1 解答 E

ア G に至るルートは 2 つある。

① $G = bW = abI$

② $G = eM = deK$

この①②で示した 4 つの式が、ひとつずつ使われていれば正解である。

① bW と ② deK がある。… (○)

イ P に至るルートも 2 つある。

① $P = cG = bcW = abcI$

② $P = cG = ceM = cdeK$

この①②で示した 6 つの式が、ひとつずつ使われていれば正解である。

① だけ使われている。… (×)

ウ S に至るルートは 2 つある。

① $S = fG = bfW = abfI$

② $S = fG = efM = defK$

この①②で示した 6 つの式が、ひとつずつ使われていれば正解である。

① $abfI$ 、② $defK$ が使われている。… (○)

よって、アとウが正解

2 解答 F ✓ 不鮮明な箇所は下記の記載となります

G には 2 つのルートからモノが集まる。

$$G = abI = 0.6 \times 0.4 = 0.24$$

$$G = deK = 0.8 \times 0.5 = 0.4$$

$$\text{合計 } 0.24 + 0.4 = \underline{0.64}$$

3 解答 B

$$B = 33 - 26$$

$$B = 7 \quad \cdots \textcircled{9}$$

⑨を④に代入して

$$A + 7 = 12$$

$$A = 5$$

よって、 $13 \div 5 = \underline{2.6}$ (倍)

問題 3

解答 B

12%の食塩水 500g に含まれる塩の量： $12 \times 500 \div 100 = 60$ (g)

3%の食塩水 400g に " : $3 \times 400 \div 100 = 12$ (g)

蒸発させる水の量を x とすると

それぞれの食塩水から蒸発するので食塩水の量は $(400 - x)$ 、 $(500 - x)$

これらを混ぜると 10%の食塩水になるので、濃度の公式にあてはめると

$$10 = \frac{(60 + 12) \times 100}{(400 - x) + (500 - x)} = \frac{7200}{900 - 2x}$$

「答え \times 分母 = 分子」より

$$10(900 - 2x) = 7200$$

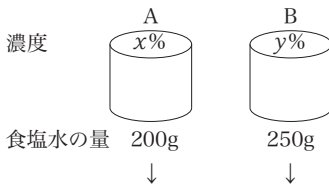
$$\div 10) \quad 900 - 2x = 720$$

$$2x = 180$$

$$x = \underline{90} \text{ (g)}$$

問題 4

解答 D



〈取り出した食塩水〉 ←不鮮明な箇所は左記の記載となります

$$\begin{array}{l} \text{シオの量} \\ \text{食塩水の量} \end{array} \quad \begin{array}{c} \frac{120x}{100} \\ 120g \end{array} + \begin{array}{c} \frac{80y}{100} \\ 80g \end{array} = \begin{array}{c} \frac{2120}{100} \\ 200g \end{array}$$

取り出した食塩水について